

ウンカ情報第1号

平成30年7月2日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

今のところ、セジロウンカの発生量はやや少なく、
トビイロウンカは確認されていません。

1 セジロウンカとトビイロウンカの飛来解析

日本植物防疫協会提供の気象再解析データによる飛来解析から、6月末までのデータで愛知県には5月5日と6日にセジロウンカとトビイロウンカが飛来した可能性があります。

なお、昨年は6月下旬に両種が飛来した可能性のある気象条件が3日間あり、6月下旬の調査でセジロウンカの発生量がやや多く、本田のすくい取り調査でトビイロウンカが1頭捕獲されました。また、9月に一部地域でトビイロウンカによる坪枯れが発生しました。

2 セジロウンカの発生状況

本年6月下旬の本田調査では、発生量は平年に比べてやや少ない状況です（表1）。また、予察灯では、これまで誘殺されていません（表2）。例年、梅雨前線が北上して、大陸から本州にかけて位置すると飛来数が増加するので、発生動向に注意してください。

表1 セジロウンカの本田調査結果（平成30年6月下旬）

調査方法	成虫	幼虫	計
粘着板による10株払い落とし	0.03 (0.04)	0.01 (0.10)	0.04 (0.14)
捕虫網による20回すくい取り	0.01 (0.26)	0.00 (0.02)	0.01 (0.28)

数値は県内 払い落とし106ほ場、すくい取り105ほ場における調査結果の平均虫数
()内は平年値（平成20～29年の平均）

表2 セジロウンカの予察灯における誘殺数（頭：平成30年）

月	半旬	長久手市	大口町	弥富市	東浦町	西尾市	豊川市
5月	第6半旬	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.1)
6月	第1半旬	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	第2半旬	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	第3半旬	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	第4半旬	0 (0.1)	(0.4)	0 (0.0)	(0.0)	(0.0)	0 (0.0)
	第5半旬	0 (0.1)	(1.8)	0 (0.0)	(0.6)	(0.1)	0 (0.2)

()内は平年値（平成20～29年の平均）

3 トビイロウンカの発生状況

本年6月下旬の本田調査では生息を認めておらず（平年並）、予察灯においても誘殺されていません。